

<< 第5次朝日町総合計画・朝日町総合戦略における成果指標等検証状況一覧表 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等							第5回委員会 (H30.11.29) における意見等		
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H29実績、H30.10.01現在		委員意見	回答・対応等	
									成果数値	達成状況等			
1	子育て・教育	114 子育て世帯への経済的支援の推進	住民・子ども課 健康課 教育委員会 企画調整課	【総合戦略】 妊娠・出産に関する経済的支援が充実していると感じる夫婦の割合	%	(H28) 98.1	99.0	100.0	95.7	H28比較：▲2.4 ※第3回検証委員会で成果指標を上方修正	▲	●朝日町は、子育てにおける経済的支援が充実していると感じているが、成果数値が減少している。今後、どのような施策を展開していくのか。	●当町の子育てにおける経済的支援の水準は、充実していると考えられる。そのような中、平成29年度からは「おうちで子育て応援事業」も実施しているが、利用者の多くが母親である。このことも踏まえ、子育ての外、就業のあり方も考えていかなければならない。
1	子育て・教育	116 非婚化・晩婚化対策の推進	企画調整課 健康課	【総合戦略】 婚活事業の参加を通じて結婚したカップル数 [累計]	組	(H28) 0	15	30	0	※成立件数無し ※第3回検証委員会で成果指標を下方修正	—	●婚活イベントにおける団体補助は、平成29年度は1団体あたり300千円であったが、平成30年度は1団体あたり100千円に減額された。事業実施にあたっては、経費が嵩むことから、補助金の見直しを検討してもらいたい。	●補助金額は、事業規模を勘案しながら設定しているが、支援のあり方について、内部で検討していきたい。
1	子育て・教育	123 心の教育の推進 (生活指導、いじめ・不登校対策)	教育委員会	不登校児童・生徒数 [年間]	人	5	0	0	8	H26比較：+3人 (+60.0%)	×	●不登校児童・生徒数が増えている。今後の展開・方針として、「引き続き、県にカウンセラーの配置を要望し、教育相談体制の構築に努める。」となっていることから、しっかり取り組んでいかなければならない。	●不登校の原因については、本人や家庭の事情など、個々の事案によって様々である。このことから、成果指標の設定自体が難しい面もある。 ●学校にはカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置しており、学校と家庭の連携、教育相談会や教育センターでの指導に取り組んでいる。
1	子育て・教育	126 ふるさと教育の推進	教育委員会 企画調整課	【総合戦略】 地域に誇りを感じている若者の割合	%	54.9	70.0	80.0	49.4	H26比較：▲5.5 ※平成29年度アンケート調査実施	▲	●平成29年度の再生会議中間報告会において、現在の中学1年生が小学6年生当時に事業案を提言した。町側からは、当該提言に対する回答ももらった。 ●現在、中学1年生は、総合の学習（我が町朝日 再発見！）で朝日町活性化案の作成に取り組んでいるところであり、生徒が考える提言を少しでも町施策に取り上げて欲しい。	●当時いただいた提言については、各部署において真剣に実現可能性等を研究・検討した。その中の1つとして、「カレンダープロジェクト」があった。現在、商工会と連携して、商工会が作成するカレンダーに小学生が選んだ朝日町の写真を取り入れることで進めている。 ●今後も、提言の実現、達成感を大切にしていきたいと考えており、学校側も、引き続きふるさと教育に協力いただきたい。
3	産業振興	313 6次産業化、農工商等連携の推進	農林水産課 商工観光課 地域振興課	《交付金》 販路拡大による売上額	千円	(H28) 722	25,000	—	1,420	H28比較：+698千円 (+96.7%)	△	●特産品の販路拡大策として、ふるさと納税の活用が挙げられている。しかし、ふるさと納税における返礼品の目安が納税額の3割程度と示されてから、納税額自体が減少している。現時点でのふるさと納税額及び今後の展開について、どのように考えているのか。	●ふるさと納税額が減少した時期もあった。現在は、ふるさと納税サイトも活用しながら展開している。現段階では、昨年度の同時期と比較して、若干増加している。
3	産業振興	331 既存企業・事業所の経営体質の強化	商工観光課	【総合戦略】 事業所数（公務を除く）	事業所	774	790	800	640	H26比較：▲134事業所 (▲17.3%)	▲	●既存企業への支援策は、どのようなことを考えているのか。 ●企業誘致も大切であるが、既存企業にも引き続き目を向けて欲しい。	●当町では、商工会とタイアップして、「がんばる事業者応援事業」を実施している。当該事業を活用して、「まちゼミ」や販路確保、経営指導等を行っていただいている。
3	産業振興	333 起業・就業の促進 (人材の育成、立上げ支援)	商工観光課	【総合戦略】 起業・開店数 [累計]	件	1 (まちなか) + 0 (郊外)	5 (まちなか) + 2 (郊外)	12	5 (まちなか) + 2 (郊外)	H26比較： まちなか：+4件 (+400.0%) 郊外：+2件 (皆増)	○	●中間目標を達成していることから、成果指標を上方修正すべきではないか。	●検討していきたい。

<< 第5次朝日町総合計画・朝日町総合戦略における成果指標等検証状況一覧表 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等						第5回委員会 (H30.11.29) における意見等		
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H29実績、H30.10.01現在		委員意見	回答・対応等
									成果数値	達成状況等		
4	観光・交流	411 観光素材の魅力向上	商工観光課 農林水産課	【総合戦略】 観光客入込数[年間]	万人	25.0	45.0	50.0	27.1	H26比較：+2.1万人 (+8.4%) △	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日町のイベントとして、トレイルランやシクロクロス大会が開催されている。観光入込客数には、このようなイベントに参加される県外客が含まれているのか。 ●このような大きく発展していくと予想されるイベントに対し、町としてどのように関わっていくのか。 ●「山の日」の制定以来、朝日町の低山への来訪者が増えている。この流れは、町としても大切にしていけるべきである。しかしながら、駐車場不足や道路保全などといった課題があることから、低山へ目を向けた事業展開をお願いしたい。 ●インバウンド事業について、海外からの観光客は増加しているのか。 ●朝日町には観光はあるが、それが産業に結び付く流れがなかなか無い。事業者は、様々なイベントにボランティアという意識でしか携わっておらず、お金を落としてもらい(=稼ぐ)といった部分が上手くいっていないと感じており、事業者の意識改革が必要である。 ●これまでの産業は、「業者だけの産業」であった。朝日町では、民泊をはじめ、ヒスイ探しや魚のさばき方など、暮らしが観光を受け入れ始めた。これは地方創生の1つのモデルになるものと考えられる。何か産業があるとそれに促される。朝日町には大きな産業が無いからこそ、自然や暮らし、風土が観光地になってきている。暮らし・農村・漁村・山村にそれぞれの良さがあり、その良さを感じて朝日町を訪れたいと思う人も増えてきている。これが素晴らしいことである。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント参加人数が分かり次第、追加して計上していく。 ●支援策として、町内で宿泊された場合、1人あたり2千円を助成している。 ●朝日町観光協会及び大蓮華山保勝会で作成していたところであり、好評である。要望のあった件については、検討していきたい。 ●当町では、平成29年度からインバウンド事業に力を入れている。11月には、にいかわ観光圏として、台湾で開催された国際観光博に参加し、2市2町の首長がトップセールスを行った。平成30年4月には、台湾から約300人の観光客が舟川を訪れた。平成31年2月には、台湾から約40人の高校生を受け入れる予定である。 ●観光には、宿泊やお土産で業者にお金が落ちる仕組みが必要である。様々な仕掛けがビジネスとして成り立つかを判断しながら、事業者自身が連携していかなければならないと考える。
4	観光・交流	413 情報発信・プロモーションの強化	商工観光課	出向宣伝回数[年間]	回	7	10	15	18	H26比較：+11回 (+157.1%) (最終目標達成) ◎	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人観光客が、いつ頃来町するのか等の情報が早目に分かれば、ビジネスチャンスとして出店をチャレンジする事業者も出てくると考える。そのような情報発信を行って欲しい。 	
4	観光・交流	415 観光拠点の整備(町の特性を打ち出した観光の提供)	商工観光課	【総合戦略】 ヒスイ海岸観光入込客数[年間]	万人	9.4	20.0	22.5	11.9	H26比較：+2.5万人 (+26.6%) △	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒスイテラスが10月20日(土)にオープンした。その後、当該施設における入込状況はどのようになっているのか。 ●当該施設は、朝日町観光の良い起爆剤になる。今後のイベント開催予定等について、どのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当該施設がオープンした10月20日(土)及び21日(日)の2日間で、約2,500人が来場している。その後、平日で1日あたり約100人、土日祝日で約200人強が来場しており、これまでの累計来場者は5,000人強である。 ●イベントの開催については、朝日町観光協会と協議しながら進めていく。
				【総合戦略】 舟川観光入込客数[年間]	万人	2.8	10.0	11.0	3.0	H26比較：+0.2万人 (+7.1%) △	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日町には、「舟川春の四重奏」や「ヒスイ海岸」など、素晴らしい見どころがあり、ドライブがてら訪れることができる。朝日町には伸びしろがあり、さらに観光宣伝・PRに投資することで、より朝日町ファンが増えるものと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当町では、「舟川春の四重奏」及び「ヒスイ海岸」を二大景勝地として売り出している。舟川春の四重奏のPRについては、富山市のセントラムをラッピングして走らせている。また、あいの風とやま鉄道では、イベント切符も販売している。今後も、効果的なPRに努めていきたい。
4	観光・交流	423 合宿・教育旅行における交流推進	商工観光課 教育委員会	【総合戦略】 教育旅行受入れ数[年間]	人	150	720	920	263	H26比較：+113人 (+75.3%) △	<ul style="list-style-type: none"> ●民泊の受入者数が伸びてきているが、受入れを増やすことは負担にならないのか。 ●一般家庭での民泊ではなく、公民館での宿泊も1つの方法であると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●民泊の実施にあたっては、受入れ家庭数が重要となってくる。現時点で、約50世帯の受入れ家庭がある。
5	定住	512 商業機能の維持・向上	商工観光課	まめなけ市場利用者[年間]	人	(H28) 32,523	72,000	80,000	31,776	H28比較：▲747人 (▲2.3%) ※1年間通した利用者数を実績とするため、平成28年度を基準値とする。 ▲	<ul style="list-style-type: none"> ●まめなけ市場は、買い物弱者を支援するものであり、関係者は工夫と努力を行っているとともに、利用者にとってはなくてはならないものとなっている。 ●成果指標の中には「起業・開店数」の数値もあるが、五叉路クロスファイブに商工会やまめなけ市場があることが、呼び水・波及効果になっているものと考えている。 	

<< 第5次朝日町総合計画・朝日町総合戦略における成果指標等検証状況一覧表 >>

基本目標	成果指標等						第5回委員会（H30.11.29）における意見等		
	総合戦略 数値目標	単位	H26 (基準)	H32 (目標)	－ (－)	H29実績、H30.10.01現在		委員意見	回答・対応等
						成果数値	達成状況等		
2. 町への人の流れをつくる、町に人を呼び込む	若者の転入者数 [年間] (20～39歳を対象)	人	99	120		103	H26比較：+4人 (+4.0%) △	●数値が改善されてきている実態は、良い傾向であり、目標の達成に向けて努力して欲しい。	●これまでの町施策における取組みが、徐々に浸透してきた結果であると分析している。今後も効果的の見直しを行いながら、住みよい町となるように努めていきたい。
	転出超過者数 [年間]	人	103	70		52	H26比較：▲51人 (▲49.5%) ○		
3. 若者の結婚・出産・子育てを応援する	家族の役割として「子どもを産み育てること」が重要だと思う若者の割合	人	36.0	40.0		7.6	H26比較：▲28.4 ※平成29年度アンケート調査 ×	●平成29年度アンケート結果において、割合が低い。	●基準とした成果指標は内閣府の数値を採用した。平成29年度に当町が独自に行ったアンケートとの捉えられ方に差異があったものとする。